

USリート・プラス

(為替ヘッジあり/毎月分配型) (為替ヘッジなし/毎月分配型)
(為替ヘッジあり/年2回決算型) (為替ヘッジなし/年2回決算型)

運用報告書(全体版)

毎月分配型

第1期(決算日 2019年10月28日)
第2期(決算日 2019年11月26日)
第3期(決算日 2019年12月26日)
第4期(決算日 2019年1月27日)
第5期(決算日 2020年2月26日)

年2回決算型 第1期(決算日 2020年2月26日)
(作成対象期間 2019年9月6日～2020年2月26日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／資産複合	
信託期間	約10年間（2019年9月6日～2029年8月24日）	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	スター・ヘリオス・ピーエルシーが発行する債券（米ドル建）	
組入制限	株式への投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	毎月分配型	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。また、第1および第2計算期末には、収益の分配は行ないません。
	年2回決算型	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、一つのファンドで米国リートおよび米ドル建てのバンクローン等に実質的に投資することにより、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
（営業日の9:00～17:00）
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<3393>
<3394>
<3395>
<3396>

（為替ヘッジあり／毎月分配型）

設定以来の運用実績

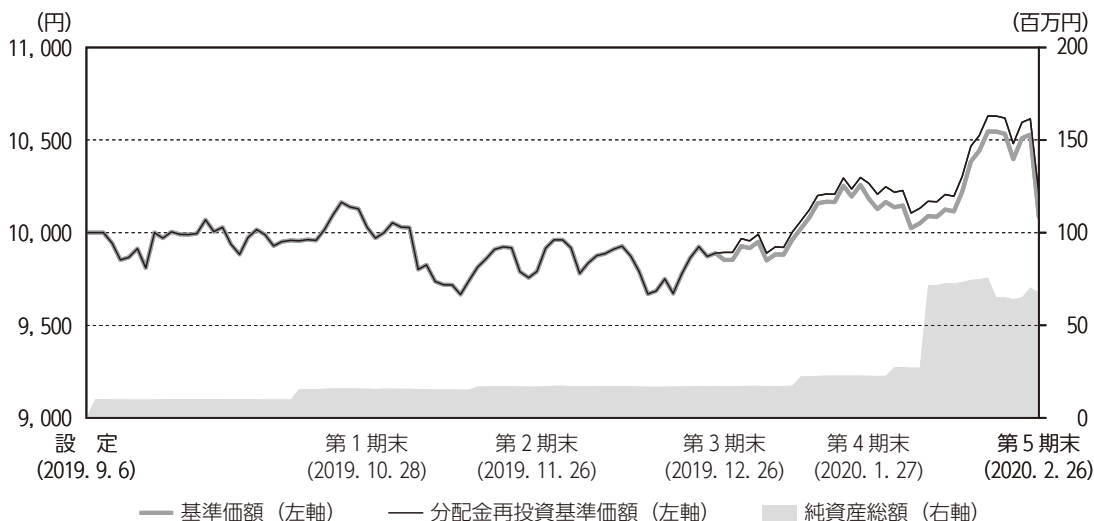
決 算 期	基 準 価 額				公 社 債 組 入 比 率	純 資 産 総 額
	（ 分 配 落 ）	税 分 込 配	み 金	期 騰 落 中 率		
	円		円	%	%	百万円
1 期末（2019年10月28日）	10,029		—	0.3	93.7	15
2 期末（2019年11月26日）	9,790		—	△ 2.4	91.0	16
3 期末（2019年12月26日）	9,853		40	1.1	96.6	17
4 期末（2020年1月27日）	10,185		40	3.8	93.7	22
5 期末（2020年2月26日）	10,085		40	△ 0.6	94.7	67

（注1）基準価額の騰落率は分配金込み。
（注2）公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
（注3）当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

設定時：10,000円

第5期末：10,085円（既払分配金120円）

騰落率：2.1%（分配金再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

スター・ヘリオス・ピーエルシーが発行する債券（米ドル建）を通じて、実質的に米国リートおよび米ドル建てのバンクローン（貸付債権）等に投資し、為替ヘッジを行い運用した結果、米国リート市況が上昇し、バンクローン等も堅調な推移となったことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

USリート・プラス（為替ヘッジあり／毎月分配型）

	年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 組 入 比 率
			騰 落 率	
第 1 期	(期 首) 2019年 9 月 6 日	円 10,000	% —	% —
	9 月末	10,006	0.1	94.5
	(期 末) 2019年10月28日	10,029	0.3	93.7
第 2 期	(期 首) 2019年10月28日	10,029	—	93.7
	10 月末	10,053	0.2	93.8
	(期 末) 2019年11月26日	9,790	△ 2.4	91.0
第 3 期	(期 首) 2019年11月26日	9,790	—	91.0
	11 月末	9,961	1.7	90.9
	(期 末) 2019年12月26日	9,893	1.1	96.6
第 4 期	(期 首) 2019年12月26日	9,853	—	96.6
	12 月末	9,927	0.8	96.7
	(期 末) 2020年 1 月27日	10,225	3.8	93.7
第 5 期	(期 首) 2020年 1 月27日	10,185	—	93.7
	1 月末	10,147	△ 0.4	93.1
	(期 末) 2020年 2 月26日	10,125	△ 0.6	94.7

（注）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2019. 9. 6 ～ 2020. 2. 26）

■米国リート市況

米国リート市況は上昇しました。

当作成期首から2019年12月末にかけての米国リート市況は、値動きの乏しい展開となりました。2020年1月以降は、米国金利が下落し始めたことを好感し、市況は堅調に推移したものの、2月半ばから当作成期末にかけては、新型コロナウイルスがアジア圏のみならず世界的な感染拡大を引き起こし、株式市場全体が売られる中、大きく下落しました。

■米国債券市況

米国債券市況は金利が低下（債券価格は上昇）しました。

米国債券市況は、当作成期首より、米中通商交渉や英国のEU（欧州連合）離脱交渉の進展期待が高まる中で、金利は上昇傾向となりました。2020年1月以降は、新型コロナウイルスの感染拡大への懸念が高まったことなどから、金利は低下傾向となりました。

米ドル建ての担保付バンクローン市場は、当作成期首より2019年11月ごろまでは一進一退の推移が続きました。12月以降は、良好な米国雇用統計や米国政府が米中通商協議における「第1段階」合意の内容を一部公表したことなどからリスク選好姿勢が強まり、堅調に推移しました。2020年1月半ば以降は、新型コロナウイルスの感染拡大への懸念が高まったことなどから下落しました。

■短期金利市況

日銀は「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を継続し、短期金利は低位で推移しました。一方、米国はFOMC（米国連邦公開市場委員会）で、政策金利であるFFレート（フェデラル・ファンド・レート）の誘導目標を0.50%ポイント引き下げ、1.50～1.75%としました。

ポートフォリオについて

（2019. 9. 6 ～ 2020. 2. 26）

原則として、ダウ・ジョーンズ米国不動産指数の値動きに100%程度連動すると同時にGIM トラスト2ーシニア・セキュアード・ローン・ファンド USDクラス（※）の値動きに80%程度連動する債券への投資割合を高位に維持しました。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いました。

※GIM トラスト2ーシニア・セキュアード・ローン・ファンド USDクラス

米ドル建てのバンクローン等に投資し、安定的なインカム収益の確保をめざして運用を行います。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。なお、第1期および第2期は分配方針通り、収益分配を行いませんでした。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第1期	第2期	第3期	第4期	第5期
	2019年9月6日 ～2019年10月28日	2019年10月29日 ～2019年11月26日	2019年11月27日 ～2019年12月26日	2019年12月27日 ～2020年1月27日	2020年1月28日 ～2020年2月26日
当期分配金(税込み) (円)	—	—	40	40	40
対基準価額比率 (%)	—	—	0.40	0.39	0.40
当期の収益 (円)	—	—	40	40	23
当期の収益以外 (円)	—	—	—	—	16
翌期繰越分配対象額 (円)	74	158	201	320	306

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第1期	第2期	第3期	第4期	第5期
(a) 経費控除後の配当等収益	41.75円	76.01円	✓ 83.42円	✓ 69.58円	✓ 23.13円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	2.18	0.00	0.00	69.58	0.00
(c) 収益調整金	30.70	42.45	43.28	97.88	259.22
(d) 分配準備積立金	0.00	40.01	115.20	123.17	✓ 63.84
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	74.64	158.48	241.91	360.23	346.20
(f) 分配金	0.00	0.00	40.00	40.00	40.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	74.64	158.48	201.91	320.23	306.20

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

原則として、ダウ・ジョーンズ米国不動産指数の値動きに100%程度連動すると同時にG I M トラスト 2ーシニア・セキュアード・ローン・ファンド USDクラスの値動きに80%程度連動する債券への投資割合を高位に保つことによって、米国リートおよび米ドル建てのバンクローン等を実質的に投資し、信託財産の成長をめざして運用を行います。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

1 万口当りの費用の明細

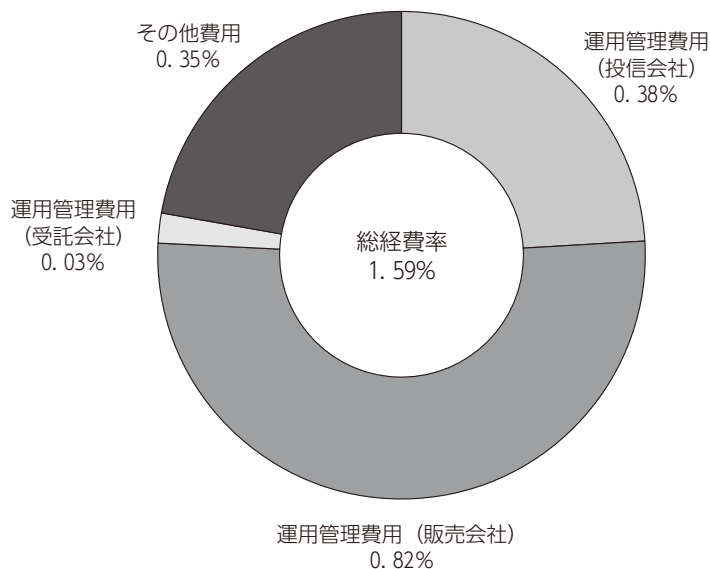
項 目	第1期～第5期 (2019. 9. 6～2020. 2. 26)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	59円	0. 589%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は9, 998円です。
(投 信 会 社)	(18)	(0. 182)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(39)	(0. 391)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(2)	(0. 015)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	17	0. 168	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(3)	(0. 034)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(13)	(0. 130)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	76	0. 757	

- (注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。
- (注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
- (注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。
- (注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.59%です。



（注1）1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

（注2）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

（注3）各比率は、年率換算した値です。

USリート・プラス（為替ヘッジあり／毎月分配型）

■売買および取引の状況

公 社 債

(2019年9月6日から2020年2月26日まで)

決 算 期			第 1 期 ～ 第 5 期	
			買 付 額	売 付 額
外 国	アメリカ	社債券	千アメリカ・ドル 676	千アメリカ・ドル 101 (一)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 社債券には新株予約権付社債券(転換社債券)は含まれておりません。

(注4) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2019年9月6日から2020年2月26日まで)

第 1 期 ～ 第 5 期			
買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
Star Helios Plc (アイルランド) 2021/1/19	千円 74,189	Star Helios Plc (アイルランド) 2021/1/19	千円 11,156

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■ 投信会社による当ファンドの設定・解約および保有状況

当作成期首 保 有 額	当作成期中 設 定 額	当作成期中 解 約 額	当作成期末 保 有 額	取 引 の 理 由
百万円 10	百万円 —	百万円 10	百万円 —	当初設定時における 取得とその処分

(注1) 金額は元本ベース。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1)外国 (外貨建) 公社債 (通貨別)

作成期	第 5 期 末							
区 分	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5 年以上	2 年以上	2 年未満
	千アメリカ・ドル	千アメリカ・ドル	千円	%	%	%	%	%
アメリカ	600	580	64,061	94.7	—	—	—	94.7

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注4) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2)外国（外貨建）公社債（銘柄別）

第 5 期 末							
区 分	銘 柄	種 類	年 利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
					外貨建金額	邦貨換算金額	
アメリカ	Star Helios Plc	社 債 券	% —	千アメリカ・ドル 600	千アメリカ・ドル 580	千円 64,061	2021/01/19

（注 1）邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

（注 2）額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

（注 3）クーポンが変動するため、年利率は「—」で表記しています。

■投資信託財産の構成

2020年 2月26日現在

項 目	第 5 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	64,061	89.6
コール・ローン等、その他	7,432	10.4
投資信託財産総額	71,494	100.0

（注 1）評価額の単位未満は切捨て。

（注 2）外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、2月26日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝110.31円です。

（注 3）第5期末における外貨建純資産（60,911千円）の投資信託財産総額（71,494千円）に対する比率は、85.2%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

（2019年10月28日）、（2019年11月26日）、（2019年12月26日）、（2020年 1月27日）、（2020年 2月26日）現在

項 目	第 1 期末	第 2 期末	第 3 期末	第 4 期末	第 5 期末
(A) 資産	31,434,704円	33,170,298円	33,784,919円	44,868,529円	143,131,594円
コール・ローン等	1,044,555	1,595,324	679,205	1,321,935	7,403,505
公社債（評価額）	14,771,994	15,369,281	16,536,937	21,347,404	64,061,429
未収入金	15,618,155	16,204,119	16,565,897	22,194,785	71,660,473
その他未収収益	—	1,574	2,880	4,405	6,187
(B) 負債	15,675,787	16,276,864	16,661,953	22,076,011	75,485,573
未払金	15,642,720	16,247,880	16,574,742	21,963,113	75,158,397
未払収益分配金	—	—	69,515	89,514	268,293
未払解約金	—	—	—	2,018	—
未払信託報酬	19,990	15,820	17,402	20,952	58,096
その他未払費用	13,077	13,164	294	414	787
(C) 純資産総額（A－B）	15,758,917	16,893,434	17,122,966	22,792,518	67,646,021
元本	15,713,871	17,255,812	17,378,840	22,378,583	67,073,294
次期繰越損益金	45,046	△ 362,378	△ 255,874	413,935	572,727
(D) 受益権総口数	15,713,871口	17,255,812口	17,378,840口	22,378,583口	67,073,294口
1万口当り基準価額（C／D）	10,029円	9,790円	9,853円	10,185円	10,085円

* 設定時における元本額は10,000,000円、当作成期間（第 1 期～第 5 期）中における追加設定元本額は67,075,263円、同解約元本額は10,001,969円です。

* 第 5 期末の計算口数当りの純資産額は10,085円です。

US リート・プラス（為替ヘッジあり／毎月分配型）

■ 損益の状況

第 1 期 自2019年 9 月 6 日 至2019年10月28日 第 3 期 自2019年11月27日 至2019年12月26日 第 5 期 自2020年 1 月28日 至2020年 2 月26日
第 2 期 自2019年10月29日 至2019年11月26日 第 4 期 自2019年12月27日 至2020年 1 月27日

項 目	第 1 期	第 2 期	第 3 期	第 4 期	第 5 期
(A) 配当等収益	97, 035円	148, 237円	160, 743円	160, 295円	215, 423円
受取利息	97, 139	146, 682	159, 440	158, 778	213, 958
その他収益金	—	1, 574	1, 306	1, 525	1, 551
支払利息	△ 104	△ 19	△ 3	△ 8	△ 86
(B) 有価証券売買損益	5, 082	498, 996	35, 574	640, 853	206, 915
売買益	228, 336	66, 171	186, 202	928, 031	1, 101, 233
売買損	△ 223, 254	△ 565, 167	△ 150, 628	△ 287, 178	△ 1, 308, 148
(C) 信託報酬等	△ 33, 072	△ 17, 072	△ 19, 250	△ 22, 831	△ 60, 265
(D) 当期損益金 (A + B + C)	69, 045	△ 367, 831	177, 067	778, 317	△ 51, 757
(E) 前期繰越損益金	—	69, 045	△ 298, 786	△ 191, 217	428, 254
(F) 追加信託差損益金	△ 23, 999	△ 63, 592	△ 64, 640	△ 83, 651	464, 523
(配当等相当額)	(48, 253)	(73, 265)	(75, 222)	(219, 059)	(1, 738, 715)
(売買損益相当額)	(△ 72, 252)	(△ 136, 857)	(△ 139, 862)	(△ 302, 710)	(△ 1, 274, 192)
(G) 合計 (D + E + F)	45, 046	△ 362, 378	△ 186, 359	503, 449	841, 020
(H) 収益分配金	—	—	△ 69, 515	△ 89, 514	△ 268, 293
次期繰越損益金 (G + H)	45, 046	△ 362, 378	△ 255, 874	413, 935	572, 727
追加信託差損益金	△ 23, 999	△ 63, 592	△ 64, 640	△ 83, 651	464, 523
(配当等相当額)	(48, 253)	(73, 265)	(75, 222)	(219, 059)	(1, 738, 715)
(売買損益相当額)	(△ 72, 252)	(△ 136, 857)	(△ 139, 862)	(△ 302, 710)	(△ 1, 274, 192)
分配準備積立金	69, 045	200, 210	275, 676	497, 586	315, 119
繰越損益金	—	△ 498, 996	△ 466, 910	—	△ 206, 915

(注 1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注 2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注 3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■ 収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第 1 期	第 2 期	第 3 期	第 4 期	第 5 期
(a) 経費控除後の配当等収益	65, 610円	131, 165円	144, 981円	155, 727円	155, 158円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	3, 435	0	0	155, 721	0
(c) 収益調整金	48, 253	73, 265	75, 222	219, 059	1, 738, 715
(d) 分配準備積立金	0	69, 045	200, 210	275, 652	428, 254
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	117, 298	273, 475	420, 413	806, 159	2, 322, 127
(f) 分配金	0	0	69, 515	89, 514	268, 293
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	117, 298	273, 475	350, 898	716, 645	2, 053, 834
(h) 受益権総口数	15, 713, 871□	17, 255, 812□	17, 378, 840□	22, 378, 583□	67, 073, 294□

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ			
1 万 口 当 り 分 配 金	第3期	第4期	第5期
	40円	40円	40円

●＜分配金再投資コース＞をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。 ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。 ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。 ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
--

《お知らせ》 ■商号変更について 大和証券投資信託委託株式会社は、2020年4月1日付で、商号を「大和アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。

（為替ヘッジなし／毎月分配型）

設定以来の運用実績

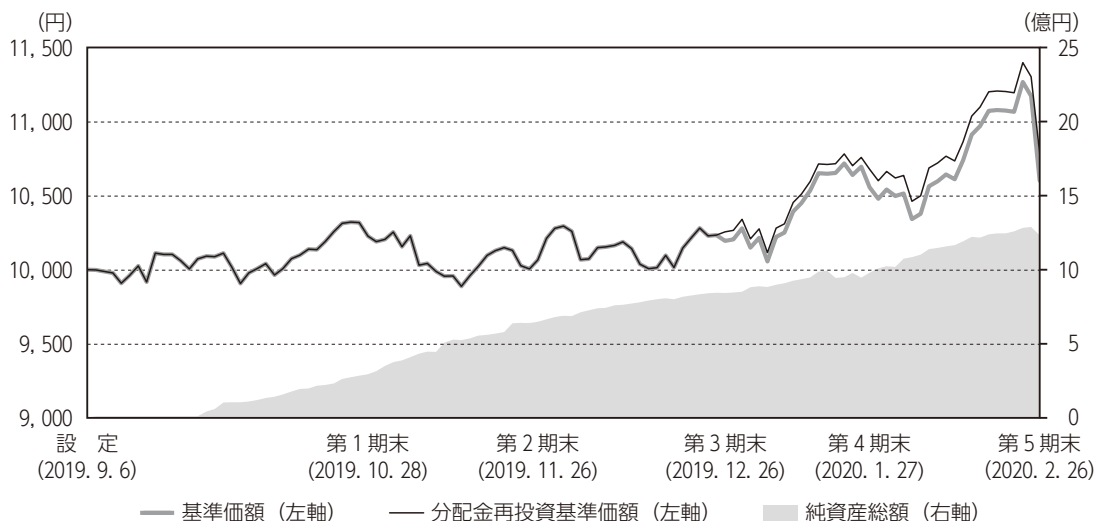
決 算 期	基 準 価 額				公 社 債 組 入 比 率	純 資 産 総 額
	（ 分 配 落 ）	税 込 分	み 金	期 騰 落 中 率		
	円		円	%	%	百万円
1 期末（2019年10月28日）	10, 226		—	2. 3	94. 8	294
2 期末（2019年11月26日）	10, 066		—	△ 1. 6	98. 5	648
3 期末（2019年12月26日）	10, 195		60	1. 9	98. 8	843
4 期末（2020年 1 月27日）	10, 556		60	4. 1	94. 0	979
5 期末（2020年 2 月26日）	10, 601		60	1. 0	96. 5	1, 231

（注 1）基準価額の騰落率は分配金込み。
（注 2）公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
（注 3）当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

設定時：10,000円

第5期末：10,601円（既払分配金180円）

騰落率：7.8%（分配金再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

スター・ヘリオス・ピーエルシーが発行する債券（米ドル建）を通じて、実質的に米国リートおよび米ドル建てのバンクローン（貸付債権）等に投資し運用した結果、米ドルが対円で上昇（円安）し、米国リートやバンクローン等も堅調な推移となったことから、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

USリート・プラス（為替ヘッジなし／毎月分配型）

	年 月 日	基 準 価 額		公 組 社 入 比 債 率
			騰 落 率	
第 1 期	(期 首) 2019年 9 月 6 日	円 10,000	% —	% —
	9 月末	10,088	0.9	67.3
	(期 末) 2019年10月28日	10,226	2.3	94.8
第 2 期	(期 首) 2019年10月28日	10,226	—	94.8
	10 月末	10,254	0.3	92.8
	(期 末) 2019年11月26日	10,066	△ 1.6	98.5
第 3 期	(期 首) 2019年11月26日	10,066	—	98.5
	11 月末	10,295	2.3	97.8
	(期 末) 2019年12月26日	10,255	1.9	98.8
第 4 期	(期 首) 2019年12月26日	10,195	—	98.8
	12 月末	10,280	0.8	99.2
	(期 末) 2020年 1 月27日	10,616	4.1	94.0
第 5 期	(期 首) 2020年 1 月27日	10,556	—	94.0
	1 月末	10,514	△ 0.4	94.3
	(期 末) 2020年 2 月26日	10,661	1.0	96.5

（注）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2019. 9. 6 ～ 2020. 2. 26）

■米国リート市況

米国リート市況は上昇しました。

当作成期首から2019年12月末にかけての米国リート市況は、値動きの乏しい展開となりました。2020年1月以降は、米国金利が下落し始めたことを好感し、市況は堅調に推移したものの、2月半ばから当作成期末にかけては、新型コロナウイルスがアジア圏のみならず世界的な感染拡大を引き起こし、株式市場全体が売られる中、大きく下落しました。

■米国債券市況

米国債券市況は金利は低下（債券価格は上昇）しました。

米国債券市況は、当作成期首より、米中通商交渉や英国のEU（欧州連合）離脱交渉の進展期待が高まる中で、金利は上昇傾向となりました。2020年1月以降は、新型コロナウイルスの感染拡大への懸念が高まったことなどから、金利は低下傾向となりました。

米ドル建ての担保付バンクローン市場は、当作成期首より2019年11月ごろまでは一進一退の推移が続きました。12月以降は、良好な米国雇用統計や米国政府が米中通商協議における「第1段階」合意の内容を一部公表したことなどからリスク選好姿勢が強まり、堅調に推移しました。2020年1月半ば以降は、新型コロナウイルスの感染拡大への懸念が高まったことなどから下落しました。

■為替相場

米ドルは対円で上昇しました。

当作成期首より、米中通商交渉や英国のEU（欧州連合）離脱交渉の進展期待が高まる中で、円安傾向となりました。2020年1月半ば以降は、新型コロナウイルスの感染拡大への懸念が高まったことなどから、米ドルは対円で値動きの激しい展開となりました。

ポートフォリオについて

（2019. 9. 6 ～ 2020. 2. 26）

原則として、ダウ・ジョーンズ米国不動産指数の値動きに100%程度連動すると同時にG I M トラスト2ーシニア・セキュアード・ローン・ファンド USDクラス（※）の値動きに80%程度連動する債券への投資割合を高位に維持しました。

※G I M トラスト2ーシニア・セキュアード・ローン・ファンド USDクラス

米ドル建てのバンクローン等に投資し、安定的なインカム収益の確保をめざして運用を行います。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。なお、第1期および第2期は分配方針通り、収益分配を行いませんでした。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第1期	第2期	第3期	第4期	第5期
	2019年9月6日 ～2019年10月28日	2019年10月29日 ～2019年11月26日	2019年11月27日 ～2019年12月26日	2019年12月27日 ～2020年1月27日	2020年1月28日 ～2020年2月26日
当期分配金(税込み) (円)	—	—	60	60	60
対基準価額比率 (%)	—	—	0.59	0.57	0.56
当期の収益 (円)	—	—	60	60	60
当期の収益以外 (円)	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額 (円)	225	256	287	563	601

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第1期	第2期	第3期	第4期	第5期
(a) 経費控除後の配当等収益	31.89円	55.07円	✓ 79.78円	✓ 78.05円	✓ 71.95円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	81.00	0.00	0.00	242.43	0.00
(c) 収益調整金	113.07	150.53	185.63	223.23	347.40
(d) 分配準備積立金	0.00	50.53	82.27	79.78	241.85
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	225.96	256.14	347.69	623.50	661.21
(f) 分配金	0.00	0.00	60.00	60.00	60.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	225.96	256.14	287.69	563.50	601.21

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

原則として、ダウ・ジョーンズ米国不動産指数の値動きに100%程度連動すると同時にG I M トラスト 2ーシニア・セキュアード・ローン・ファンド U S Dクラスの値動きに80%程度連動する債券への投資割合を高位に保つことによって、米国リートおよび米ドル建てのバンクローン等に実質的に投資し、信託財産の成長をめざして運用を行います。

1 万口当りの費用の明細

項 目	第1期～第5期 (2019. 9. 6～2020. 2. 26)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	60円	0. 587%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は 10, 299円です。
(投 信 会 社)	(19)	(0. 182)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(40)	(0. 390)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(2)	(0. 015)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	4	0. 034	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0. 008)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0. 005)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(2)	(0. 021)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	64	0. 621	

(注 1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注 2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

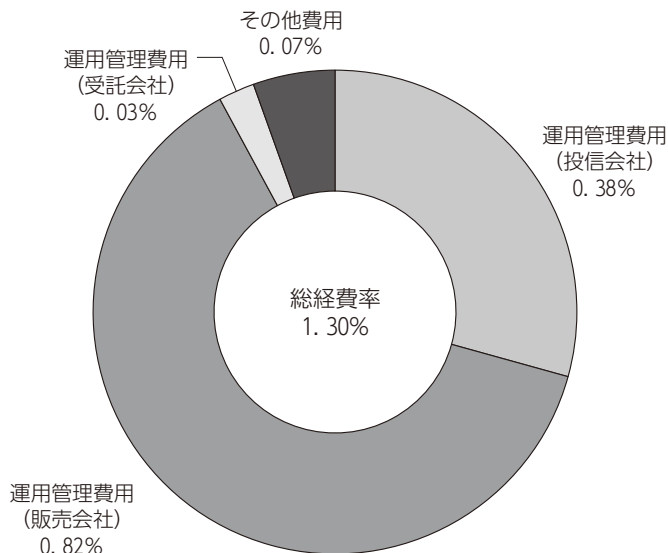
(注 3) 各比率は 1 万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して 100 を乗じたもので、小数点第 3 位未満を四捨五入してあります。

(注 4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1 万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.30%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

USリート・プラス（為替ヘッジなし／毎月分配型）

■売買および取引の状況

公 社 債

(2019年9月6日から2020年2月26日まで)

決 算 期			第 1 期 ～ 第 5 期	
			買 付 額	売 付 額
外 国	アメリカ	社債券	千アメリカ・ドル 10,928	千アメリカ・ドル 281 (—)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利分は含まれておりません）。
(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
(注3) 社債券には新株予約権付社債券（転換社債券）は含まれておりません。
(注4) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2019年9月6日から2020年2月26日まで)

第 1 期 ～ 第 5 期			
買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
Star Helios Plc（アイルランド）2021/1/19	千円 1,195,139	Star Helios Plc（アイルランド）2021/1/19	千円 30,741

(注1) 金額は受渡し代金（経過利分は含まれておりません）。
(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■投信会社による当ファンドの設定・解約および保有状況

当作成期首 保 有 額	当作成期中 設 定 額	当作成期中 解 約 額	当作成期末 保 有 額	取 引 の 理 由
百万円 10	百万円 —	百万円 10	百万円 —	当初設定時における取得とその処分

(注1) 金額は元本ベース。
(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1)外国（外貨建）公社債（通貨別）

作成期		第 5 期 末						
区 分	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千アメリカ・ドル 11,130	千アメリカ・ドル 10,772	千円 1,188,339	% 96.5	% —	% —	% —	% 96.5

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。
(注4) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2)外国（外貨建）公社債（銘柄別）

第 5 期 末							
区 分	銘 柄	種 類	年 利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
					外貨建金額	邦貨換算金額	
アメリカ	Star Helios Plc	社 債 券	% —	千アメリカ・ドル 11,130	千アメリカ・ドル 10,772	千円 1,188,339	2021/01/19

（注1）邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

（注2）額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

（注3）クーポンが変動するため、年利率は「—」で表記しています。

■投資信託財産の構成

2020年2月26日現在

項 目	第 5 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	1,188,339	91.3
コール・ローン等、その他	113,607	8.7
投資信託財産総額	1,301,947	100.0

（注1）評価額の単位未満は切捨て。

（注2）外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、2月26日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝110.31円です。

（注3）第5期末における外貨建純資産（1,198,625千円）の投資信託財産総額（1,301,947千円）に対する比率は、92.1％です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

（2019年10月28日）、（2019年11月26日）、（2019年12月26日）、（2020年1月27日）、（2020年2月26日）現在

項 目	第1期末	第2期末	第3期末	第4期末	第5期末
(A) 資産	370,273,123円	723,894,248円	886,683,539円	1,096,869,361円	1,327,944,905円
コール・ローン等	66,653,233	80,516,413	34,555,956	128,603,347	113,395,020
公社債（評価額）	279,612,736	639,362,069	833,048,199	921,140,500	1,188,339,515
未収入金	24,007,154	4,000,036	19,020,484	46,996,982	25,997,642
その他未収収益	—	15,730	58,900	128,532	212,728
(B) 負債	75,275,805	75,120,160	43,352,301	117,078,636	96,636,271
未払金	75,076,922	74,620,494	37,604,054	47,000,000	37,123,660
未払収益分配金	—	—	4,963,090	5,569,245	6,968,874
未払解約金	—	—	204	63,508,149	51,330,979
未払信託報酬	184,714	481,930	775,426	985,190	1,188,828
その他未払費用	14,169	17,736	9,527	16,052	23,930
(C) 純資産総額（A－B）	294,997,318	648,774,088	843,331,238	979,790,725	1,231,308,634
元本	288,478,609	644,528,608	827,181,708	928,207,663	1,161,479,042
次期繰越損益金	6,518,709	4,245,480	16,149,530	51,583,062	69,829,592
(D) 受益権総口数	288,478,609口	644,528,608口	827,181,708口	928,207,663口	1,161,479,042口
1万口当り基準価額（C／D）	10,226円	10,066円	10,195円	10,556円	10,601円

* 設定時における元本額は10,000,000円、当作成期間（第1期～第5期）中における追加設定元本額は1,407,837,396円、同解約元本額は256,358,354円です。

* 第5期末の計算口数当りの純資産額は10,601円です。

US リート・プラス（為替ヘッジなし／毎月分配型）

■ 損益の状況

第 1 期 自 2019 年 9 月 6 日 至 2019 年 10 月 28 日 第 3 期 自 2019 年 11 月 27 日 至 2019 年 12 月 26 日 第 5 期 自 2020 年 1 月 28 日 至 2020 年 2 月 26 日
第 2 期 自 2019 年 10 月 29 日 至 2019 年 11 月 26 日 第 4 期 自 2019 年 12 月 27 日 至 2020 年 1 月 27 日

項 目	第 1 期	第 2 期	第 3 期	第 4 期	第 5 期
(A) 配当等収益	976,334円	4,036,629円	6,982,272円	7,474,328円	9,573,310円
受取利息	977,361	4,022,545	6,939,806	7,413,804	9,498,890
その他収益	—	15,730	43,163	61,636	75,647
支払利息	△ 1,027	△ 1,646	△ 697	△ 1,112	△ 1,227
(B) 有価証券売買損益	2,479,416	9,768,433	7,683,519	25,482,356	3,424,057
売買益	3,267,021	3,278,916	8,089,127	32,833,637	12,175,786
売買損	△ 787,605	△ 13,047,349	△ 405,608	△ 7,351,281	△ 15,599,843
(C) 信託報酬等	△ 198,888	△ 486,662	△ 804,205	△ 1,011,547	△ 1,216,013
(D) 当期損益金 (A + B + C)	3,256,862	△ 6,218,466	13,861,586	31,945,137	4,933,240
(E) 前期繰越損益金	—	3,256,862	△ 2,961,070	5,208,396	28,090,924
(F) 追加信託差損益金	3,261,847	7,207,084	10,212,104	19,998,774	43,774,302
(配当等相当額)	(1,698,897)	(9,702,519)	(15,355,414)	(20,720,626)	(39,151,085)
(売買損益相当額)	(1,562,950)	(△ 2,495,435)	(△ 5,143,310)	(△ 721,852)	(4,623,217)
(G) 合計 (D + E + F)	6,518,709	4,245,480	21,112,620	57,152,307	76,798,466
(H) 収益分配金	—	—	△ 4,963,090	△ 5,569,245	△ 6,968,874
次期繰越損益金 (G + H)	6,518,709	4,245,480	16,149,530	51,583,062	69,829,592
追加信託差損益金	3,261,847	7,207,084	10,212,104	19,998,774	43,774,302
(配当等相当額)	(1,698,897)	(9,702,519)	(15,355,414)	(20,720,626)	(39,151,085)
(売買損益相当額)	(1,562,950)	(△ 2,495,435)	(△ 5,143,310)	(△ 721,852)	(4,623,217)
分配準備積立金	3,256,862	6,806,829	8,441,898	31,584,288	29,479,347
繰越損益金	—	△ 9,768,433	△ 2,504,472	—	△ 3,424,057

(注 1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注 2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本の差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注 3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■ 収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第 1 期	第 2 期	第 3 期	第 4 期	第 5 期
(a) 経費控除後の配当等収益	920,148円	3,549,967円	6,599,390円	7,244,909円	8,357,297円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	2,336,714	0	0	22,503,270	0
(c) 収益調整金	3,261,847	9,702,519	15,355,414	20,720,626	40,350,245
(d) 分配準備積立金	0	3,256,862	6,805,598	7,405,354	28,090,924
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	6,518,709	16,509,348	28,760,402	57,874,159	76,798,466
(f) 分配金	0	0	4,963,090	5,569,245	6,968,874
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	6,518,709	16,509,348	23,797,312	52,304,914	69,829,592
(h) 受益権総口数	288,478,609□	644,528,608□	827,181,708□	928,207,663□	1,161,479,042□

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ			
1 万 口 当 り 分 配 金	第3期	第4期	第5期
	60円	60円	60円

●＜分配金再投資コース＞をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。 ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。 ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。 ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
--

《お知らせ》 ■商号変更について 大和証券投資信託委託株式会社は、2020年4月1日付で、商号を「大和アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。

（為替ヘッジあり／年2回決算型）

設定以来の運用実績

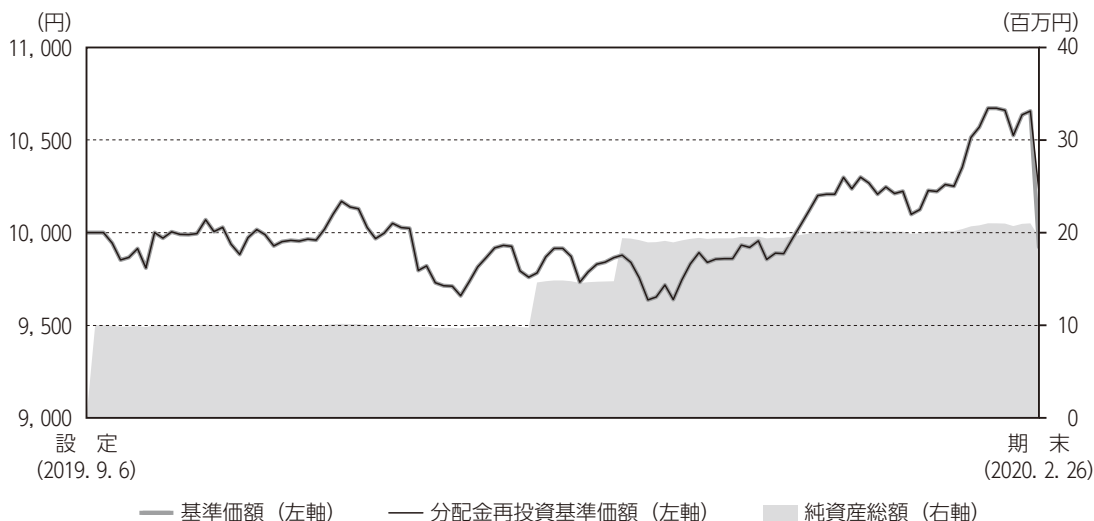
決 算 期	基 準 価 額				公 社 債 率 組 入 比	純 資 産 額
	（ 分 配 落 ）	税 込 分 配 金	期 騰 落	中 率		
1 期末（2020年 2 月26日）	円 9,922	円 300		% 2.2	% 98.3	百万円 19

（注 1）基準価額の騰落率は分配金込み。
（注 2）公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
（注 3）当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

設定時：10,000円

期 末：9,922円（分配金300円）

騰落率：2.2%（分配金込み）

基準価額の主な変動要因

スター・ヘリオス・ピーエルシーが発行する債券（米ドル建）を通じて、実質的に米国リートおよび米ドル建てのバンクローン（貸付債権）等に投資し、為替ヘッジを行い運用した結果、米国リート市況が上昇し、バンクローン等も堅調な推移となったことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

USリート・プラス（為替ヘッジあり／年2回決算型）

年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 組 入 比 率
		騰 落 率	
	円	%	%
（期 首）2019年 9 月 6 日	10,000	—	—
9 月 末	10,006	0.1	94.5
10 月 末	10,050	0.5	94.8
11 月 末	9,915	△ 0.9	91.9
12 月 末	9,933	△ 0.7	96.0
2020年 1 月 末	10,224	2.2	95.1
（期 末）2020年 2 月26日	10,222	2.2	98.3

（注）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2019. 9. 6 ～ 2020. 2. 26）

■米国リート市況

米国リート市況は上昇しました。

当作成期首から2019年12月末にかけての米国リート市況は、値動きの乏しい展開となりました。2020年1月以降は、米国金利が下落し始めたことを好感し、市況は堅調に推移したものの、2月半ばから当作成期末にかけては、新型コロナウイルスがアジア圏のみならず世界的な感染拡大を引き起こし、株式市場全体が売られる中、大きく下落しました。

■米国債券市況

米国債券市況は金利が低下（債券価格は上昇）しました。

米国債券市況は、当作成期首より、米中通商交渉や英国のEU（欧州連合）離脱交渉の進展期待が高まる中で、金利は上昇傾向となりました。2020年1月以降は、新型コロナウイルスの感染拡大への懸念が高まったことなどから、金利は低下傾向となりました。

米ドル建ての担保付バンクローン市場は、当作成期首より2019年11月ごろまでは一進一退の推移が続きました。12月以降は、良好な米国雇用統計や米国政府が米中通商協議における「第1段階」合意の内容を一部公表したことなどからリスク選好姿勢が強まり、堅調に推移しました。2020年1月半ば以降は、新型コロナウイルスの感染拡大への懸念が高まったことなどから下落しました。

■短期金利市況

日銀は「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を継続し、短期金利は低位で推移しました。一方、米国はFOMC（米国連邦公開市場委員会）で、政策金利であるFFレート（フェデラル・ファンド・レート）の誘導目標を0.50%ポイント引き下げ、1.50～1.75%としました。

ポートフォリオについて

（2019. 9. 6 ～ 2020. 2. 26）

原則として、ダウ・ジョーンズ米国不動産指数の値動きに100%程度連動すると同時にGIM トラスト2ーシニア・セキュアード・ローン・ファンド USDクラス（※）の値動きに80%程度連動する債券への投資割合を高位に維持しました。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いました。

※GIM トラスト2ーシニア・セキュアード・ローン・ファンド USDクラス

米ドル建てのバンクローン等に投資し、安定的なインカム収益の確保をめざして運用を行います。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2019年9月6日 ～2020年2月26日	
当期分配金（税込み）	（円）	300
対基準価額比率	（％）	2.93
当期の収益	（円）	300
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	109

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当 期	
(a) 経費控除後の配当等収益	✓	302.55円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益		11.46
(c) 収益調整金		95.10
(d) 分配準備積立金		0.00
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)		409.12
(f) 分配金		300.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)		109.12

- (注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

原則として、ダウ・ジョーンズ米国不動産指数の値動きに100%程度連動すると同時にG I M トラスト2ーシニア・セキュアード・ローン・ファンド US Dクラスの値動きに80%程度連動する債券への投資割合を高位に保つことによって、米国リートおよび米ドル建てのバンクローン等を実質的に投資し、信託財産の成長をめざして運用を行います。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2019. 9. 6～2020. 2. 26)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	59円	0. 589%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は10, 007円です。
(投 信 会 社)	(18)	(0. 182)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(39)	(0. 391)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(2)	(0. 016)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	13	0. 126	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(4)	(0. 036)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0. 003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(9)	(0. 087)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	72	0. 716	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

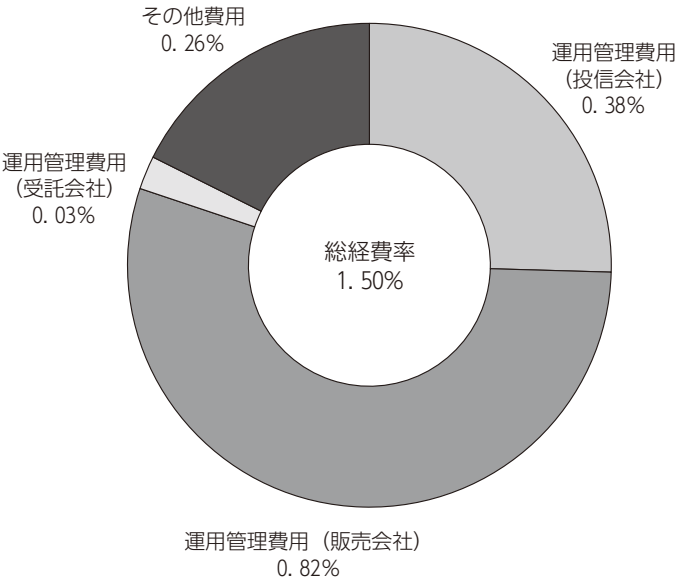
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.50%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
(注3) 各比率は、年率換算した値です。

公社債

(2019年9月6日から2020年2月26日まで)

			買 付 額	売 付 額
外 国	アメリカ	社債券	千アメリカ・ドル 172	千アメリカ・ドル — (—)

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。
(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
(注3) 社債券には新株予約権付社債券(転換社債券)は含まれておりません。
(注4) 単位未満は切捨て。

公社債

(2019年9月6日から2020年2月26日まで)

当		期	
買	付	付	
銘	柄	金	額
Star Helios Plc (アイルランド) 2021/1/19	千円 18,745		

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。
(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■ 投信会社による当ファンドの設定・解約および保有状況

当作成期首 保 有 額	当作成期中 設 定 額	当作成期中 解 約 額	当作成期末 保 有 額	取 引 の 理 由
百万円 10	百万円 —	百万円 —	百万円 10	当初設定時における取得

(注1) 金額は元本ベース。
(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1)外国 (外貨建) 公社債 (通貨別)

作成期	当 期 末							
区 分	額面金額	評 価 額		組入比率	うちＢＢ格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			５年以上	２年以上	２年未満
アメリカ	千アメリカ・ドル 180	千アメリカ・ドル 174	千円 19,218	% 98.3	% —	% —	% —	% 98.3

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。
(注4) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社よりデータを入力しています。

(2)外国（外貨建）公社債（銘柄別）

		当 期 末			評 価 額		償還年月日
区 分	銘 柄	種 類	年 利 率	額面金額	外貨建金額	邦貨換算金額	
アメリカ	Star Helios Plc	社 債 券	%	千アメリカ・ドル	千アメリカ・ドル	千円	2021/01/19
			—	180	174	19,218	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。
(注3) クーポンが変動するため、年利率は「—」で表記しています。

■投資信託財産の構成

項 目	2020年 2月26日現在 当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	19,218	94.5
コール・ローン等、その他	1,108	5.5
投資信託財産総額	20,326	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。
(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、2月26日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝110.31円です。
(注3) における外貨建純資産（19,320千円）の投資信託財産総額（20,326千円）に対する比率は、95.0%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年 2月26日現在	
項 目	当 期 末
(A)資産	39,612,432円
コール・ローン等	1,108,274
公社債（評価額）	19,218,429
未収入金	19,285,729
(B)負債	20,057,980
未払金	19,379,407
未払収益分配金	591,224
未払信託報酬	86,833
その他未払費用	516
(C)純資産総額（A－B）	19,554,452
元本	19,707,495
次期繰越損益金	△ 153,043
(D)受益権総口数	19,707,495口
1万口当り基準価額（C／D）	9,922円

*期首における元本額は10,000,000円、当作成期間中における追加設定元本額は9,709,866円、同解約元本額は2,371円です。
*当期末の計算口数当りの純資産額は9,922円です。
*当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は153,043円です。

■損益の状況

当期 自2019年 9月 6 日 至2020年 2月26日	
項 目	当 期
(A)配当等収益	698,048円
受取利息	698,169
支払利息	△ 121
(B)有価証券売買損益	26,457
売買益	676,432
売買損	△ 649,975
(C)信託報酬等	△ 105,642
(D)当期損益金（A＋B＋C）	618,863
(E)追加信託差損益金	180,682
(配当等相当額)	(187,427)
(売買損益相当額)	(△ 368,109)
(F)合計（D＋E）	438,181
(G)収益分配金	△ 591,224
次期繰越損益金（F＋G）	△ 153,043
追加信託差損益金	△ 180,682
(配当等相当額)	(187,427)
(売買損益相当額)	(△ 368,109)
分配準備積立金	27,639

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	596,262円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	22,601
(c) 収益調整金	187,427
(d) 分配準備積立金	0
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	806,290
(f) 分配金	591,224
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	215,066
(h) 受益権総口数	19,707,495口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金	300円

●＜分配金再投資コース＞をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
 - ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
 - ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
 - ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

《お知らせ》

■商号変更について

大和証券投資信託委託株式会社は、2020年4月1日付で、商号を「大和アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。

（為替ヘッジなし／年2回決算型）

設定以来の運用実績

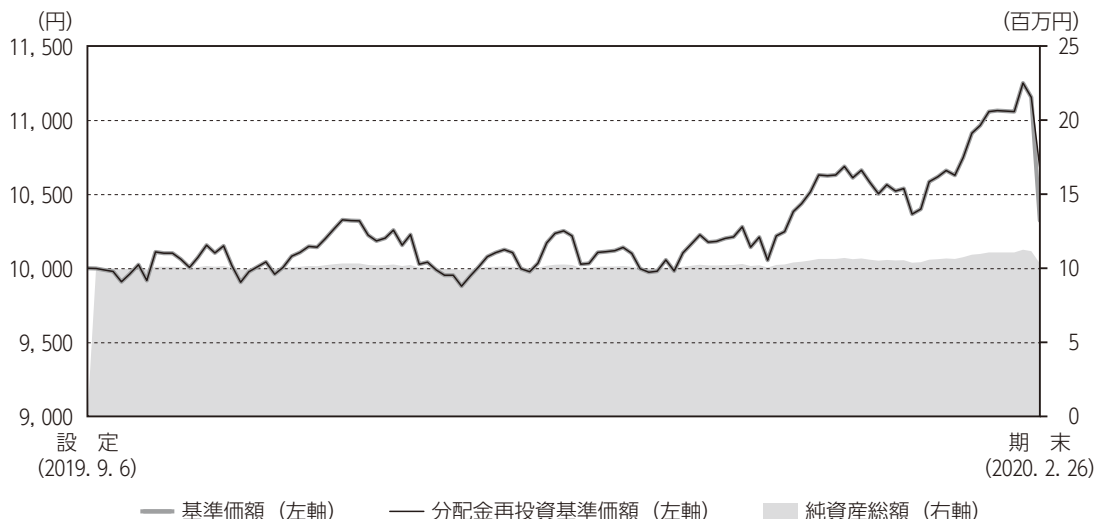
決 算 期	基 準 価 額				公 社 債 率 組 入 比	純 資 産 額
	（ 分 配 落 ）	税 込 分 配	み 金	期 騰 落 中 率		
1 期末（2020年 2 月26日）	円 10,322		円 350	% 6.7	% 93.1	百万円 10

（注 1）基準価額の騰落率は分配金込み。
（注 2）公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
（注 3）当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

設定時：10,000円

期末：10,322円（分配金350円）

騰落率：6.7%（分配金込み）

基準価額の変動要因

スター・ヘリオス・ピーエルシーが発行する債券（米ドル建）を通じて、実質的に米国リートおよび米ドル建てのバンクローン（貸付債権）等に投資し運用した結果、米ドルが対円で上昇（円安）し、米国リートやバンクローン等も堅調な推移となったことから、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

USリート・プラス（為替ヘッジなし／年2回決算型）

年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 組 入 比 率
		騰 落 率	
	円	%	%
（期 首）2019年 9 月 6 日	10,000	—	—
9 月 末	10,103	1.0	93.6
10 月 末	10,257	2.6	92.9
11 月 末	10,252	2.5	92.0
12 月 末	10,280	2.8	91.2
2020年 1 月 末	10,538	5.4	90.8
（期 末）2020年 2 月26日	10,672	6.7	93.1

（注）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2019. 9. 6 ～ 2020. 2. 26）

■米国リート市況

米国リート市況は上昇しました。

当作成期首から2019年12月末にかけての米国リート市況は、値動きの乏しい展開となりました。2020年1月以降は、米国金利が下落し始めたことを好感し、市況は堅調に推移したものの、2月半ばから当作成期末にかけては、新型コロナウイルスがアジア圏のみならず世界的な感染拡大を引き起こし、株式市場全体が売られる中、大きく下落しました。

■米国債券市況

米国債券市況は金利は低下（債券価格は上昇）しました。

米国債券市況は、当作成期首より、米中通商交渉や英国のEU（欧州連合）離脱交渉の進展期待が高まる中で、金利は上昇傾向となりました。2020年1月以降は、新型コロナウイルスの感染拡大への懸念が高まったことなどから、金利は低下傾向となりました。

米ドル建ての担保付バンクローン市場は、当作成期首より2019年11月ごろまでは一進一退の推移が続きました。12月以降は、良好な米国雇用統計や米国政府が米中通商協議における「第1段階」合意の内容を一部公表したことなどからリスク選好姿勢が強まり、堅調に推移しました。2020年1月半ば以降は、新型コロナウイルスの感染拡大への懸念が高まったことなどから下落しました。

■為替相場

米ドルは対円で上昇しました。

当作成期首より、米中通商交渉や英国のEU（欧州連合）離脱交渉の進展期待が高まる中で、円安傾向となりました。2020年1月半ば以降は、新型コロナウイルスの感染拡大への懸念が高まったことなどから、米ドルは対円で値動きの激しい展開となりました。

ポートフォリオについて

（2019. 9. 6 ～ 2020. 2. 26）

原則として、ダウ・ジョーンズ米国不動産指数の値動きに100%程度連動すると同時にGIMトラスト2ーシニア・セキュアード・ローン・ファンド USDCラス（※）の値動きに80%程度連動する債券への投資割合を高位に維持しました。

※GIMトラスト2ーシニア・セキュアード・ローン・ファンド USDCラス

米ドル建てのバンクローン等に投資し、安定的なインカム収益の確保をめざして運用を行います。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■ 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2019年9月6日 ～2020年2月26日	
当期分配金（税込み）	（円）	350
対基準価額比率	（％）	3.28
当期の収益	（円）	350
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	322

- （注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- （注2）円未満は四捨五入しており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- （注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■ 収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当 期	
(a) 経費控除後の配当等収益	✓	424.27円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益		247.81
(c) 収益調整金		0.12
(d) 分配準備積立金		0.00
(e) 当期分配対象額（a + b + c + d）		672.21
(f) 分配金		350.00
(g) 翌期繰越分配対象額（e - f）		322.21

（注）✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

原則として、ダウ・ジョーンズ米国不動産指数の値動きに100%程度連動すると同時にG I M トラスト2ーシニア・セキュアード・ローン・ファンド US Dクラスの値動きに80%程度連動する債券への投資割合を高位に保つことによって、米国リートおよび米ドル建てのバンクローン等に実質的に投資し、信託財産の成長をめざして運用を行います。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2019. 9. 6～2020. 2. 26)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	60円	0. 589%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は 10, 255円です。
(投 信 会 社)	(19)	(0. 183)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(40)	(0. 391)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(2)	(0. 016)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	16	0. 159	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(3)	(0. 030)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0. 003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(13)	(0. 126)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	77	0. 749	

(注 1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注 2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

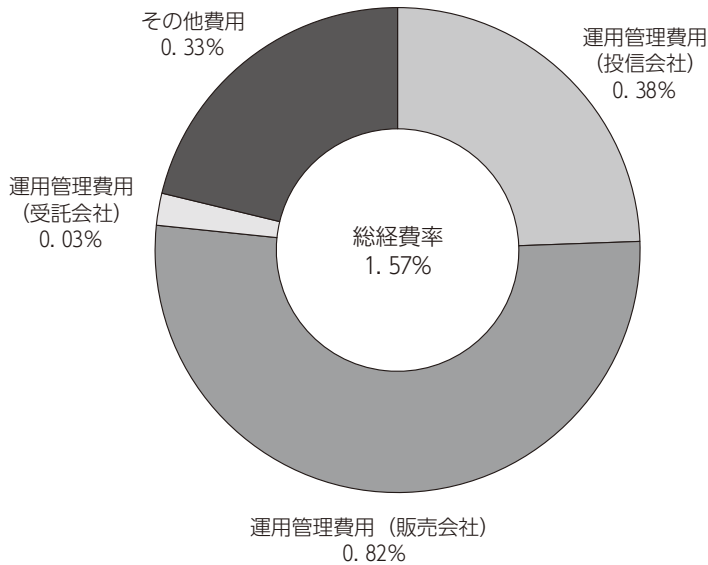
(注 3) 各比率は 1 万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第 3 位未満を四捨五入してあります。

(注 4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1 万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.57%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況

公 社 債

(2019年9月6日から2020年2月26日まで)

			買 付 額	売 付 額
外国	アメリカ	社債券	千アメリカ・ドル	千アメリカ・ドル
			87	—
			(	—)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
(注3) 社債券には新株予約権付社債券（転換社債券）は含まれておりません。
(注4) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2019年9月6日から2020年2月26日まで)

当		期	
買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
Star Helios Plc（アイルランド） 2021/1/19	9,422		

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■投信会社による当ファンドの設定・解約および保有状況

当作成期首 保 有 額	当作成期中 設 定 額	当作成期中 解 約 額	当作成期末 保 有 額	取 引 の 理 由
百万円 10	百万円 —	百万円 —	百万円 10	当初設定時における取得

(注1) 金額は元本ベース。
(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1)外国（外貨建）公社債（通貨別）

作成期		当 期 末						
区 分	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千アメリカ・ドル 90	千アメリカ・ドル 87	千円 9,609	% 93.1	% —	% —	% —	% 93.1

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。
(注4) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2)外国（外貨建）公社債（銘柄別）

		当 期 末			評 価 額		償還年月日
区 分	銘 柄	種 類	年 利 率	額面金額	外貨建金額	邦貨換算金額	
アメリカ	Star Helios Plc	社 債 券	% —	千アメリカ・ドル 90	千アメリカ・ドル 87	千円 9,609	2021/01/19

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。
(注3) クーポンが変動するため、年利率は「—」で表記しています。

■投資信託財産の構成

2020年2月26日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	9,609	89.5
コール・ローン等、その他	1,123	10.5
投資信託財産総額	10,732	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。
(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、2月26日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝110.31円です。
(注3) 当期末における外貨建純資産（10,219千円）の投資信託財産総額（10,732千円）に対する比率は、95.2%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年2月26日現在

項 目	当 期 末
(A)資産	10,732,587円
コール・ローン等	1,123,373
公社債（評価額）	9,609,214
(B)負債	410,437
未払収益分配金	350,000
未払信託報酬	60,091
その他未払費用	346
(C)純資産総額（A－B）	10,322,150
元本	10,000,020
次期繰越損益金	322,130
(D)受益権総口数	10,000,020口
1万口当り基準価額（C／D）	10,322円

*期首における元本額は10,000,000円、当作成期間中における追加設定元本額は5,904円、同解約元本額は5,884円です。
*当期末の計算口数当りの純資産額は10,322円です。

■損益の状況

当期 自2019年9月6日 至2020年2月26日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	472,530円
受取利息	472,621
支払利息	91
(B) 有価証券売買損益	275,993
売買益	297,838
売買損	21,845
(C) 信託報酬等	76,437
(D) 当期損益金（A＋B＋C）	672,086
(E) 追加信託差損益金	44
(配当等相当額)	(128)
(売買損益相当額)	(84)
(F) 合計（D＋E）	672,130
(G) 収益分配金	350,000
次期繰越損益金（F＋G）	322,130
追加信託差損益金	44
(配当等相当額)	(128)
(売買損益相当額)	(84)
分配準備積立金	322,086

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	424, 275円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	247, 811
(c) 収益調整金	128
(d) 分配準備積立金	0
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	672, 214
(f) 分配金	350, 000
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	322, 214
(h) 受益権総口数	10, 000, 020口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金	350円

●＜分配金再投資コース＞をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。 ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。 ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。 ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
--

《お知らせ》
■商号変更について
大和証券投資信託委託株式会社は、2020年4月1日付で、商号を「大和アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。